



# MOF 2015

Mahara Open Forum 2015.10.10-11 放送大学

第6回 Mahara オープンフォーラム

## 教育ビッグデータの活用に向けた Mahara

2015年10月10日(土), 11日(日)

放送大学 (千葉市美浜区)

Mahara User Group Japan 運営委員会

<http://eport.f-leccs.jp/muc/>

## 第6回 Mahara オープンフォーラム (MOF2015)

## テーマ：教育ビッグデータの活用に向けたMahara

日時： 2015年10月10日(土), 11日(日)

場所： 放送大学

主催： Mahara User Group Japan 運営委員会

MUG-Japan 運営委員長：森本康彦(東京学芸大学)

MOF2015 運営委員長：秋光淳生(放送大学)

大会参加費：2000円(学生：無料)

情報交換会：10日のフォーラム終了後(会場：放送大学, 会費：3000円)

\* Mahara は高等教育向けに開発された、オープンソースのeポートフォリオシステムです。

<http://mahara.org> で配布されており、誰でも無料でダウンロード・使用できます。

## ◎10月10日(土)

12:30～ 受付開始

13:00～13:10 開会挨拶・趣旨説明：秋光淳生(放送大学, MOF2015 運営委員長)

13:10～13:40 招待講演1「Mahara15.10について(仮題)」

Kristina D.C. Hoepfner (Catalyst IT) 【ニュージーランドから遠隔講演】

13:50～14:50 招待講演2「MOOCsとLearning Analytics(仮題)」

山田恒夫(放送大学)

15:00～16:30 一般セッション1

(1)「SECIモデルとeポートフォリオ・リテラシースキルを用いた授業設計」

田中洋一(仁愛女子短期大学), 山川修(福井県立大学)

(2)「ポートフォリオ・リテラシーの育成とダッシュボードの設計」佐藤眞久, 吉川雅修,

奥原利昌(山梨大学), 田中雅貴(株式会社カルク), 日永龍彦(山梨大学)

(3)「通信制大学における学修活動理解の試み」秋光淳生, 秦野努, 三輪眞木子, 仁科エミ(放送大学)

16:40～17:40 一般セッション2

(4)「PBLにおけるMaharaの利用ーペーパーレスを目指したピア評価システムー」堀場文彰,

鈴木茂孝(藤田保健衛生大学), 遠藤大二(酪農学園大学), 若月徹, 大槻真嗣(藤田保健衛生大学)

(5)「プレゼンテーション学習におけるルーブリックのピア評価についてー2,361件データに対する分析ー」亀田真澄(山口東京理科大学)

18:00～20:30 情報交換会(放送大学)

## ◎10月11日(日)

8:30～ 受付開始

9:00～10:00 一般セッション3

(6)「マハラン・コネクション～MaharaとLMSを接続する」隅谷孝洋, 秋元志美, 原田久美(広島大学)

(7)「複数システムで一貫した用語を使用する手法の提案ーMahara, Moodle, Sakai CLEによる共通翻訳メモリー」宮崎誠(畿央大学), 平岡斉士(熊本大学), 常盤祐司(法政大学), 出口大輔(名古屋大学), 喜多敏博(熊本大学), 梶田将司(京都大学)

10:10～11:10 パネルディスカッション「高等教育で全学的にMaharaを利用する意義と課題」

進行：山川修(福井県立大学)

パネリスト：緒方広明(九州大学), 高橋暁子(徳島大学)

11:20～11:50 クロージングセッション「Mahara User Group Japanの設立とeポートフォリオのこれから」

進行：田中洋一(仁愛女子短期大学)

パネリスト：森本康彦(東京学芸大学, MUG-Japan 運営委員長)

11:50～12:00 閉会挨拶：秋光淳生(放送大学, MOF2015 運営委員長)

<http://eport.f-leccs.jp/muc/> 事前参加申込受付中!10/2  
まで